

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 株式会社 フジコー

1. 環境保全活動に関する方針等

マネジメントシステム方針

株式会社フジコーは、不織布及びフェルト製品の開発・製造・販売に関し、お客様本位（バイサイド）の立場で技術を掘り抜き（深耕と新耕）、お客様の立場に立った販売活動を実施する事によって顧客満足の上を目指す為の活動を展開します。

この為以下の事を実施します。

- (1) 要求事項への適合性を維持する為、マネジメントシステムの有効性の継続的改善を実施します。方針が常に適切である為の見直しを実施していきます。
- (2) 方針と整合した年度品質目標を制定し、その達成に努めます。また、年度末には達成度を評価し、目標の見直し及び次年度目標設定の指針とします。
- (3) 全従業員の能力開発、やる気の向上、工場の高品質化を推進し、お客様との共存共栄により永遠経営を目指します。
- (4) 地球温暖化と資源枯渇を抑制するために、全従業員が環境影響を意識し、資源の有効利用、省エネルギーと廃棄物の削減に努めます。
- (5) 継続的改善及び汚染の予防に努めます。
- (6) 環境法規制及び当社の同意するその他の要求事項を順守します。

2018年3月1日 改定

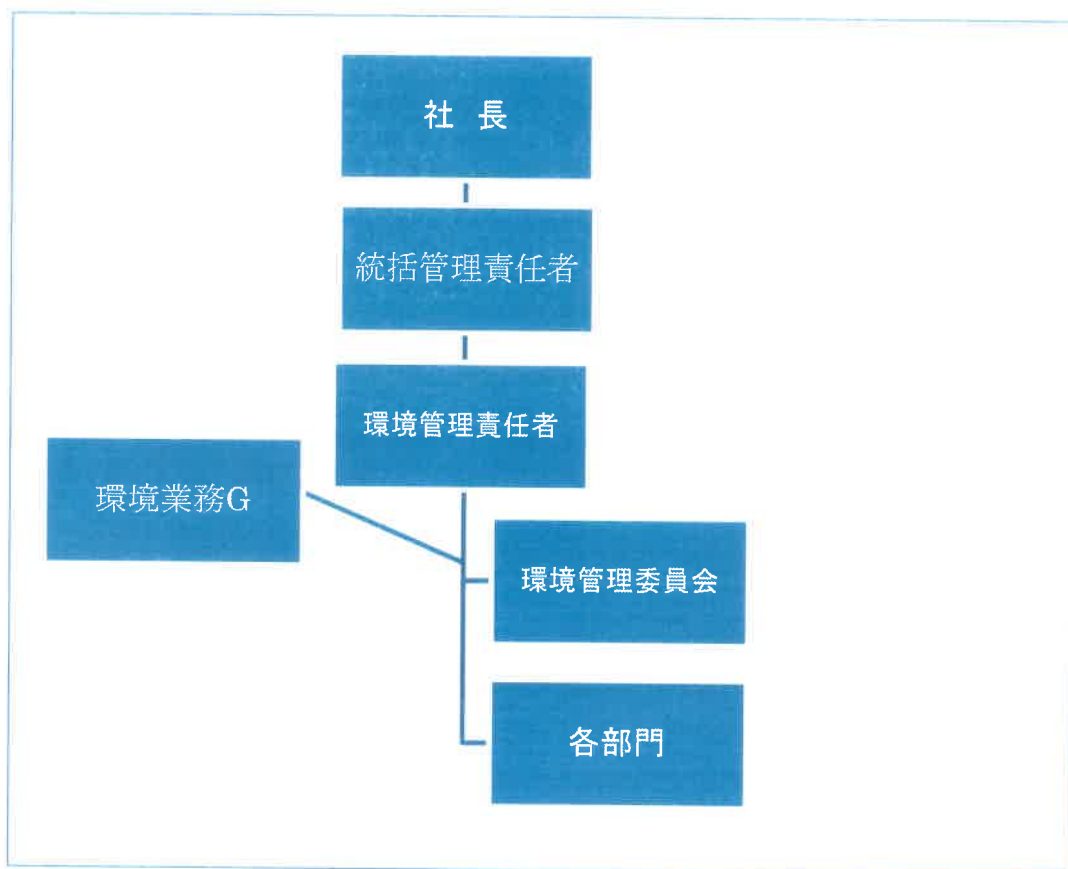
株式会社フジコー

代表取締役社長 野添 誉之

別紙2

1-2 環境保全に関する組織体制

【株式会社 フジコー本社工場】



### 別紙 3

#### 2. 環境保全活動の実施状況等

項目	目標	取組結果	今後の取組計画
エネルギー 対策	温暖化特定物質の 排出量を 2020年（H32）度まで に2005年（H17）度比 の36.5%削減	達成率 155% ・削減目標 36.5%に対し、 削減実績 59.2% （2018 実績）	温暖化特定物質の 排出量を 2020年（H32）度までに 2005年（H17）度比の 36.5%削減
廃棄物対策	廃棄物割合（原単位 ベース）で 2018年（H30）度まで に2015年（H27）度比 3%削減	4%削減（2018 年度実績） 【2015 年度比】	廃棄物割合（原単位 ベース）で 2018年（H30）度までに 2015年（H27）度比 3% 削減
環境マネジ メントシステム	ISO14001 の継続	継続中	ISO14001 の継続
自動車公害 対策	社有車の運行前 点検の実施	・継続実施中	社有車の運行前 点検の実施
地域社会への 参画	地域や行政が行う 保全活動への参加	・事業所周辺の清掃活動の 実施 ・伊丹市環境マネジメント システムへの参加（監査）	地域や行政が行う 保全活動への参加
化学物質 対策	P R T R法による 化学物質の排出量・ 移動量の把握	第 1 種指定化学物質の排出量移 動量の把握	P R T R法による 化学物質の排出量・ 移動量の把握